

| | | | | | | | |
|---|----|----|----|----|-----|--------------|----|
| スプレー系カーネーション新系統「福園12号」と「福園13号」の育成 | | | | | | | |
| [要約] 花形やスプレーフォーメーションが良好で、花色が淡紫ピンク、花数が多いスプレー系カーネーション新系統「福園12号」および「福園13号」を育成した。 | | | | | | | |
| 園芸研究所・野菜花き部・花き花木研究室 | | | | | 連絡先 | 092-922-4364 | |
| 部会名 | 園芸 | 専門 | 育種 | 対象 | 花き類 | 分類 | 指導 |

[背景・ねらい]

カーネーションの切り花生産では、従来のスタンダード系（一茎一花）にかわってスプレー系（一茎多花）品種の作付け割合が増加している。しかし、本県では冬季の寡日照条件によって茎が軟弱となり、スプレーフォーメーションが乱れ、花数が減少する等の問題を生じており、冬春出し用優良品種の育成が求められている。

そこで、本県の気象条件に適した、茎が強く、花色や花形及びスプレーフォーメーションが良好なスプレー系カーネーションを育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 平成8年度に交配し、得られた交雑実生個体の中から、スプレー系で茎が強く、花色や花形、スプレーフォーメーションに優れた2系統を選抜した（表1）。
2. 「福園12号」は、花色が淡紫ピンクで開花開始時期が2月上旬と遅いが、花弁の刻みは小さく花形が優れる。分枝数と一次着蕾数も多く、茎が強くスプレーフォーメーションがよい（表1）。
3. 「福園13号」は、花色が淡紫ピンクで開花開始時期が12月上旬の中生である。花弁の刻みは中程度で分枝数と一次着蕾数が多く、茎が強くスプレーフォーメーションがよい（表1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 職務育成申請後、品種登録出願予定。

[具体的データ]

表 1 育成系統の特性

| 項目 | 系 統 番 号 | | ハ ^o -ハ ^o ラ (対 照) |
|---|---|---|---|
| | 福園 1 2 号 | 福園 1 3 号 | |
| 交配親 | ジャニート× サムス ^o ライト ^o | ジャニート× サムス ^o ライト ^o | - |
| 交配年度 | 平成8年 | 平成8年 | - |
| 花色 | 淡紫ピ ^o ンク | 淡紫ピ ^o ンク | 明紫赤 |
| 花卉の刻み | 小 | 中 | 中 |
| ス ^o レ ^o フ ^o ォ ^o -メ ^o シ ^o ョ ^o ン | 優 | 優 | 良 |
| 草丈(cm) | 98 | 111 | 107 |
| 分枝数 | 10.3 | 9.2 | 6.6 |
| 一次着蕾数 | 5.8 | 5.5 | 4.7 |
| 茎の強さ | 強 | 強 | 強 |
| 茎の太さ(mm) | 4.5 | 4.1 | 4.4 |
| 開花開始時期 | 2月上旬 | 12月上旬 | 12月上旬 |

注) 1. 6月25日定植、1回半摘心、硬質ハウス、ベンチ栽培

2. 茎の太さ：5節中央部の長径

3. 分枝数：1回半摘心後の発生分枝数



[その他]

研究課題名：ダイアンサス属の育種

予算区分：経常

研究期間：平成11年度(平成7～11年)

研究担当者：國武利浩、谷川孝弘、黒柳直彦、小林泰生、松井 洋

発表論文等：平成7～11年度カーネーション現地委託試験報告書